



あのとときの常呂・写真館

VOL 189

(2013年)

平成25年11月 二宮尊徳像再建

▶長い間、中央児童公園にあった「二宮尊徳像」が、平成25年11月に装いも新たに元々あった総合支所と公民館の間に再建されました。再建したのは、二宮尊徳像再建賛同団体（常呂町農業協同組合・常呂漁業協同組合・北海道水産報徳会・ホクレン農業協同組合連合会・常呂町建設業協会・北見市商工会常呂支所）。台座には、「二宮尊徳像再建の経過」として、「この二宮尊徳像は、昭和12年の建立以来77年間オホーツクの風雪にさらされ、老朽化が著しい状態にありました。建立当時の意思を引き継ぎ、二宮尊徳の教えにあります相互扶助をもとに、地域の将来を担う人びとへの期待と活気にあふれる地域社会を創っていくことを決意し、再建いたしました」と刻まれています。



- 再建した像は、台座はそのまま活かし、再建団体名と再建の経過を記した銘板を左右に貼り付けたもので、像の台座の裏面（東側）には、「大演習記念 昭和11年11月」の文字が刻まれています。
- 昭和11年秋、北海道に天皇陛下をお迎えして陸軍大演習が札幌・小樽・帯広など道内各地で行われました。台座の文字は、この年の大演習を記念して建立されたことを示しています。
- 元々の像は、「常呂村役場当直日誌」によって、「昭和12年4月23日基礎工事着手。5月19日竣工」が判明しています。



このときの像は、「当直日誌」では〈二宮尊徳翁銅像〉と記しています。



*左：昭和12年
網走管内青年弁論大会優勝記念



*右：昭和14年
常呂村役場職員

- この2枚の写真の背景は、当時の常呂村役場庁舎で、通路を挟んで右側が議場でした。
- 現在、地域の人たちが記憶している二宮尊徳像は中央児童公園にありましたが、中央公民館の建設時（昭和36年）に移設されたと考えられます。また、写真で対比すると分かりますが、昭和12年建立時の像は銅像ですが、中央児童公園にあった像は石膏でした。戦時中の金属回収令によって替えられたと考えられます。
- 「当直日誌」には、「昭和17年1月10日：鉄・銅回収運動にて本役場前で受入 10月23日：職員6人で弁天・本通り・大通り・大通り西・新町町内会へ督励外勤」の記録があり、昭和19年度の「常呂小学校学事報告」には、「アルミ貨・アルミ弁当箱回収」とまで記録されています。
- 平和な時代に、現代風スタイルで再建されたことは、とても喜ばしいことです。



*左・上：中央児童公園にあった
二宮尊徳像